

事 務 連 絡
平成30年 2月 2日

各課（館、事務、事務局）長 殿

まちづくり推進課 地域創生対策監

『たかはるの未来を考える実践塾』の発足に向けて

地方創生の推進につきましては、多大なる御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

今回、新年度に向けての新たな取組となる『たかはるの未来を考える実践塾』の発足とメンバー募集についてお知らせいたします。

本町の人口は、昭和30年の16,567人をピークに毎年減少を続けています。昨年の10月にはついに9,000人を割り込みました。

平成28年2月に策定した「神武の里たかはる人口ビジョン」において、高原町の2060年人口目標値を「5,000人維持」と設定いたしました。しかしながら、現在この目標値を維持できないペースで人口減少が進んでいます。

その一方で、今、世界中に大きな技術革新の波が押し寄せ、技術と発想のイノベーションでこの困難な時代を乗り越える取組が進められています。

本町においても、この厳しい時代の中で現状の課題と向き合い、長期的・継続的な視点でもって真剣にまちおこしを議論する場を創る必要があると考え、今回の取組に歩を進めました。

“塾”という名前はついていますが、講義を聴くだけの場ではなく、この取組の支援者である九州テレコム振興センターや他の民間企業の協力を得ながら、全国の実践事例を学び、これから10年・20年後のこの町の未来を考え、子どもたちや若者が「この先もずっとこの町に住み続けたい、働きたいと思えるまち」の実現に向けて、小さなチームで実践的な政策立案にチャレンジしていく勉強会となります。

まずは、2月28日のキックオフ会議を皮切りに、次年度の1年間を一応のひと区切り期間として始めていきます。（年度途中からの参加も大いに歓迎いたします。）

必要なものはやる気と熱意のみ。我こそはという熱い志を持った職員の応募をお待ちしています。

（文書取扱：まちづくり推進課 地域創生戦略室）

御清聴ありがとうございました。